



知財法務室長 満木 様

講話内容（知的財産にかかる内容を中心に実施）

- ・ 特許について（業務、法令、競争事例など）
- ・ 電気および電気計測について

学生のワークシートから抜粋

【わかったこと等】

- ・ 特許は国が法律で保護してくれる権利。
- ・ 特許権は独占的で排他的な権利。
- ・ 特許権を得るためには特許庁に出願して特許性を認めてもらう。
- ・ 特許性とは、新規性と進歩性が認められ産業上利用できるもの。
- ・ 特許権取得までにたくさんの経緯と経費がかかることが分かった。それを全て企業が負担することによって発明しやすい環境を作ることができることが分かった。
- ・ 創意工夫の結果を模倣されたくない⇒特許を取得する。
- ・ 電気とは＋と－がくっついて安定しようとする力。
- ・ 電気とは何か、どのようなものなのかが分かった。
- ・ 電子と陽子は、電気の強さは同等、質量は 1/1840。
- ・ 電気計測器を作っている会社。
- ・ クランプ電流計は、抵抗を使用せずにケーブルを挟むだけで計ることができる。
- ・ クランプ電流計で計測することによって、電力を切らないでそのまま計ることができる。
- ・ 電流計の内部構造の仕組みなどがよく分かった。
- ・ 特許を取得するには、発明を言葉や図で説明する必要がある。
- ・ 考える力や、特許の明細書の大切さが分かった。
- ・ 特許の申請に書いてある事の穴を見つけマネをしてくることもあるので、申請には気をつけなければならない。

【気づいたこと、感想等】

- ・今ある物がベストだと思わず、もっと良い物を追い求めていけば、より良くなっていくことが分かりました。
- ・特許についても知ることができたし、HIOKI の製品にも興味を持つことができた。
- ・特許の大切さを知れてよかった。
- ・工夫して作ったものをマネされたくないと思った。
- ・元の形が理想的だと思っていただけ、まだ改善できると考え、実際に元の形よりも使いやすい形に変えてしまえる行動力と創意工夫がとてもすごいことだなと思った。
- ・創意工夫を大切にすることによって特許を取れることがあるので、創意工夫を大切に生活していきたい。
- ・マネをする側でなく、マネをされる側の人間になれるようにしていきたい。
- ・特許を取らないと自分たちが作った製品をマネされてしまうのは良くないと思いました。
- ・元の形が最善だとは思わずにゼロからものを考える、ということを活かしていきたいです。
- ・進路の参考にしたい。
- ・特許取得まで、かなりの時間と経費がかかり、スピードも大事で、取ること自体難しいが、取得した後のメリットはとても大きいものだった。
- ・円でない形のクランプ電流計で、正確に計れるのはなぜか、気になった。
- ・実現できないだろうとすぐに思わず、原因と対策をじっくり考えて物事に取り組んでいきたいと思った。